



青南だより

令和2年9月号

港区立青南幼稚園
園長 新山 裕之

<安全安心な生活環境のために>

この夏は、雨が降るたびにぬかるんでいた園庭の一部を石灰ダストに敷き代える工事をしてもらいました。ウッドデッキ付近の荒木田土の部分をコンボで削った残土は、かえでの木の周りや竹林の奥などに盛ってもらいました。コロナ対策のために空気清浄機も購入し各保育室に配備し、換気扇も全て取り換えてもらいました。トイレなどの水道も今後、自動水栓に代わる予定です。2人ずつ座るために机も追加購入し、安心安全な生活のための準備をしています。

<自立に向けた日々の取り組みは>

夏休み中、「自分のことは自分です」「家族の中のできる仕事をする」の二つは実践できたでしょうか。これからは、新型コロナと付き合っていく新しい生活の仕方を身に付けていくことが求められます。港区立幼稚園は、9月11日まで午前保育が延長されることになりました。その後は、順次弁当を食べる生活に移行していきますが、その前に、各学年で事前にシミュレーションを兼ねたおやつ弁当の日を設けようと思います。ご理解とご協力をお願いします。詳細は本文をご覧ください。

<自然との関わりを通して学ぶ>

終業式の日にかブトムシの幼虫をもらって、家で育てた方も多かったでしょう。ホームページや小さなコラムではセミの様子をお伝えしてきました。夏休みの記録などからも夏休みの様子が分かり、園庭の自然物との関わりを膨らませるきっかけになるかもしれません。園内研は、自然をテーマに進めており、9月17日には年長組が研究保育を行い、講師の先生のご指導を受けます。幼児理解を深め指導力を高める貴重な機会となりますので、保育時間の変更にご理解とご協力をお願いします。



表面を削って均して石灰ダストに入れ替え



砂場の掘り起こしと砂の補充もしました



ちょっと小ぶりながら青空に映えるヒマワリ



フェンスに広がって咲き続けるアサガオ



セミの羽化の様子はまさに神秘的です

・・・長月（ながつき）・・・

青南の 二十四節気

はくろ
白露（7日）…そろそろ秋の空気に入れ替わります …

しゅうぶん
秋分（22日）… 暑さ寒さも彼岸まで、と言いますが …

フェンス際などに作った花壇でアサガオやルコウソウなどがきれいに咲いています。小さなコラムで、セミのことを紹介してきましたが、夕方になると少し涼しい風も吹くようになり、草むらからコオロギたちの鳴き声も聞こえるようになっていきます。セミはお腹の腹弁を震わせて鳴きますが、コオロギやスズムシなどは羽と羽をこすって様々な鳴き声を発します。その音色を風情があると感じ、聞き分けられる感性は大事にしたいですね。